

ぼうさい通信 Vol.74



毎月16日は「防災教育啓発の日」

令和6年2月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマ 適切な「判断」について

本年元日には、石川県能登半島において大規模な地震が発生したことは、皆さんの記憶に新しいと思います。地震に続く建物の倒壊、また津波による甚大な被害が発生しました。ライフラインが途絶え、物資の輸送にも道路が寸断され、併せて冬季の環境でもあることから、改めて防災について考えさせられた年始となりました。

翌2日には、羽田空港滑走路における民間航空機と海上保安庁輸送機（以下、海保機）の衝突事故。誰もが目を疑う惨状が映像から流れてきました。しかし、この事故から379人の人命を救ったのは、航空機の乗務員（以下、CA）による非常事態における適切な「判断」であったことを世界中が賞賛しました。

それは、いったいどのような場面で、何が求められたのでしょうか。

〔場面1〕火災発生後の脱出については、機長がコックピットから機内放送を使用し指示するはずだった。

…事故の衝撃で放送が使えない状況であったことから、CAが機長から口頭で脱出口の指示を受けた。しかし、脱出口の一つにオレンジ色の炎が見えたことから、本来なら機長の指示が必要なところ、CA自身の判断で別のドアから脱出シュートを展開した。

〔場面2〕機内には煙が充満し乗客のパニックが起こりつつあった。

…CAは、乗客が不用意にドアを開けないようにパニックコントロールを行い、開けていいドア、そうでないドアを的確に判断し、乗客の安全な脱出につないだ。

〔場面3〕乗客が恐怖から、本能的にパスポートやバッグを荷物置き場から取り出すことで避難を遅らせる可能性があった。

…乗客の規律、協力による可能な限り速く降りようとする姿勢が、CAの適切な判断を促し、ドア3枚（/8枚）のみで世界基準の90秒ルールを達成した結果となった。

イレギュラー的な判断を含み、このような手順は事前に決まっており、その手順を訓練してきた成果が出たとの分析があります。非常事態に関する訓練プログラムでも、コックピットと連絡がつかない場合、どのように判断するのかということも盛り込んであり、日々ケーススタディをしながら備えてきた成果であったという評価が高いようです。

私たちが年に数回実施している「スモール訓練」や「3課程合同避難訓練」、また防災委員会による「避難所開設訓練」など、防災に備えた訓練は本校ではルーティン化しているため、いざという時の対応は「できる」と実感しています。ただ、大切なのは、想定外の事態が起こった場合に冷静に、かつ柔軟に対応できるかという個々のチカラをどのように発揮するか、またそのための効果的な訓練を創造することも今後は求められていくのかも知れません。

昨年12月に実施した。前述、3課程合同避難訓練では、地震による放送設備損壊という前提において、火災を知らせる為に「大きな声を出す」ことが重要であることを、熊本市消防出水出張所の隊員の方から教えていただきました。まずは、火災発生を「知らせる」というシンプルな行動こそ、周囲にとって貴重な情報となることを学びました。ここには、理科の先生方の前向きで、リアルな訓練に向けたチームとしての判断が活かされたものと嬉しく思いました。

冬と地震について

皆さんもニュースなどで知っていると思いますが、今年の元日に能登半島で大地震が発生しました。それも踏まえて、ここでは冬に地震が起こりやすい原因や、冬の寒さ対策などについてお話ししたいと思います。

【多くの巨大地震が冬に発生しやすい】

海溝型の巨大地震が特に冬に起きやすい理由は「地震が起きやすいプレート境界を押しえつけている海面からの力が、冬は海面が下がるため弱くなり、角度の緩いプレート境界断層の摩擦が小さくなるのが原因の一つとされています。

関東大震災は9月1日、東日本大震災は3月11日、熊本地震は4月14日といずれも冬の寒い季節に近いものが多いと感じられます。日本は最も地震が多い国なので、普段から気を付けて生活をするのが大切です。

【避難所での寒さ対策について】

先程も言いましたが、能登半島大震災についてSNSで話題になっていたのが、元・自衛官であり芸能活動もしている、やす子さんが載せていた避難所での寒さ対策をご紹介します。

〈雨具として使うカッパを服の下に着る〉

カッパは防寒や防風対策にも作られているので、寒さなどを通してにくくする効果があります。百円ショップなどにも売っているので普段から用意をしておく役に立つかもしれません。

〈カイロを肩甲骨あたりに貼る〉

人間の脇のあたりにある肩甲骨（けんこうこつ）は、太い血管があり当てることで体が温まりやすいとされています。ほかにも首の後ろなども血管が多く通っているので知っておくと便利かもしれません。

〈簡易ストーブの作り方〉

ロウソクに火をつけてその上に覆いかぶせるように、逆さにした鉢植えを置くと簡単なストーブが出来上がります。これは電気なども一切使わないため、役に立つかもしれませんが、近くに燃えやすいものを置いておくと危険なので気を付ける必要があります。

〈新聞紙を寝袋に入れる〉

新聞紙を寝袋に入れることで、保温効果があり温まりやすくなるのです。それに加えて、新聞紙は普通の紙よりも柔らかいため、怪我をしにくい点も良いところです。普段、新聞紙が家に届く人は捨てずに、保管をしておく避難した際に役に立つかもしれません。

全日制防災委員長 荒木レイチェル美麗

過去のぼうさい通信を見ることができます ◎ぼうさい通信(毎月16日発行)

本校HPにアクセスしてみよう。 <https://sh.higo.ed.jp/yusinkan/>

くまもとマイタイムライン(デジタル版 マイタイムライン)は、

<https://portal.bousai.pref.kumamoto.jp/timeline/#/>で作成可能です。